



在りし日の宮崎禅師 H17.4 授戒会 (105 歳)

懐紙で鶴を折られているところ

乗雲

寺報 第72号

H20.2.15 発行

広蔵寺

〒959-2646 新潟県

胎内市西栄町 2-8

TEL0254-43-2419

FAX0254-43-4560

振替

00650-4-5381

住職 神田英俊

E メールアドレス

zen@kogonji.jp

大本山永平寺貫首 宮崎奕保禅師猊下御遷化

曹洞宗大本山永平寺七十八世貫首・栴崖奕保(宮崎奕保)禅師猊下は、一月五日午前五時四十三分、ご入院先の札幌市、札幌医大病院で御遷化(死去)されました。享年百八(満百六)歳。昨年十二月より体調を崩され札幌市中央寺(前住職地)にて静養されておりましたが、北海道のこの冬は特に寒さが厳しくまたご高齢であらせられたため、手厚い看護も功なく永眠されました。

北海道より車にて永平寺へご遺体を搬送、永平寺近くの多福庵より霊柩車にお移りになり竜門頭からは雲水さんが棺を担いで唐門、山門、法堂を経て不老閣自室にご到着になりました。永平寺監院森嶺雄老師を喪主として、一月十日逮夜、十一日密葬儀が執り行われました。

宮崎禅師御遷化に伴い第七十九世貫首に、妙蔵寺(愛知県豊川市)住職、福山諦法副貫首猊下が新貫首にご就任されました。

「教えというものは実行を生み出す為にある、いくら立派な説を説いても教えがあつても、それを実行しなければ空念仏だ。仏道は実行である。」「学ぶという語は真似ぶから来ている、一生真似をすることができたら真似は本物になる。」「今の世の中、人の師表となるべき、標榜となるべき地位にある者、人の為に手本を示さなければならぬ地位にある者が法を犯している。誠の人でなければならぬ」禅師の一言一言が心に深く刻まれている。